

「にしのみやシェイクアウト訓練」実施概要

- 1 日 時 平成27年11月5日(木) 10時00分～10時05分
- 2 場 所 市内全域
- 3 目 的

11月5日は「津波防災の日」であり、津波発生の前には、地震が発生する。本年1月17日で、阪神淡路大震災から20年が経過し、市内には、震災後新たに転居してこられた方も多く、震災を経験している市民が少なくなってきたことから、地震への防災意識と個人の防災力を養うため、昨年に引き続き、地震から身を守る訓練として、「シェイクアウト訓練」を実施するものである。

4 方 法

全国瞬時警報システム(Jアラート)を通じた緊急地震速報による訓練を利用し、市内全域に向けて放送する防災行政無線からの訓練の音声にあわせて、シェイクアウト訓練を行う。

緊急告知ラジオからも同様の放送を行い訓練を実施する。

5 訓練方法

防災スピーカーや緊急告知ラジオ等から、Jアラートの報知音等合図が発せられたら、その場で約1分間「安全確保行動(まず低く、頭を守り、動かない)」をとる。

【放送内容】

『(チャイム) こちらは防災西宮市です。只今から訓練放送を行います。』

【(緊急地震速報チャイム音) 地震です。地震です。これは訓練放送です。】(×計3回)

こちらは防災西宮市です。これは訓練放送です。(チャイム)』

〔安全確保行動とは〕

地震の揺れに伴う落下物や飛来物から、頭や身体を守る行動をとります。

- ①まず低く 上からの落下物を避けられる場所で低い姿勢をとります
- ②頭を守り 落下物や飛来物から頭を守るよう、机の下に避難したり腕や荷物を使って頭を守ります
- ③動かない 1分間はじっと動かないでいます



※防災スピーカー等からJアラートの報知音等の合図が確認できなかった場合でも、10時01分に訓練をスタートしてください。

〔参考〕シェイクアウト訓練とは

地震を想定して参加者が一斉にその場で身を守る3つの安全行動をとるもの。日本シェイクアウト提唱会議によれば、平成27年度は全国で延べ約411万人(平成27年9月14日現在)が参加を予定しています。

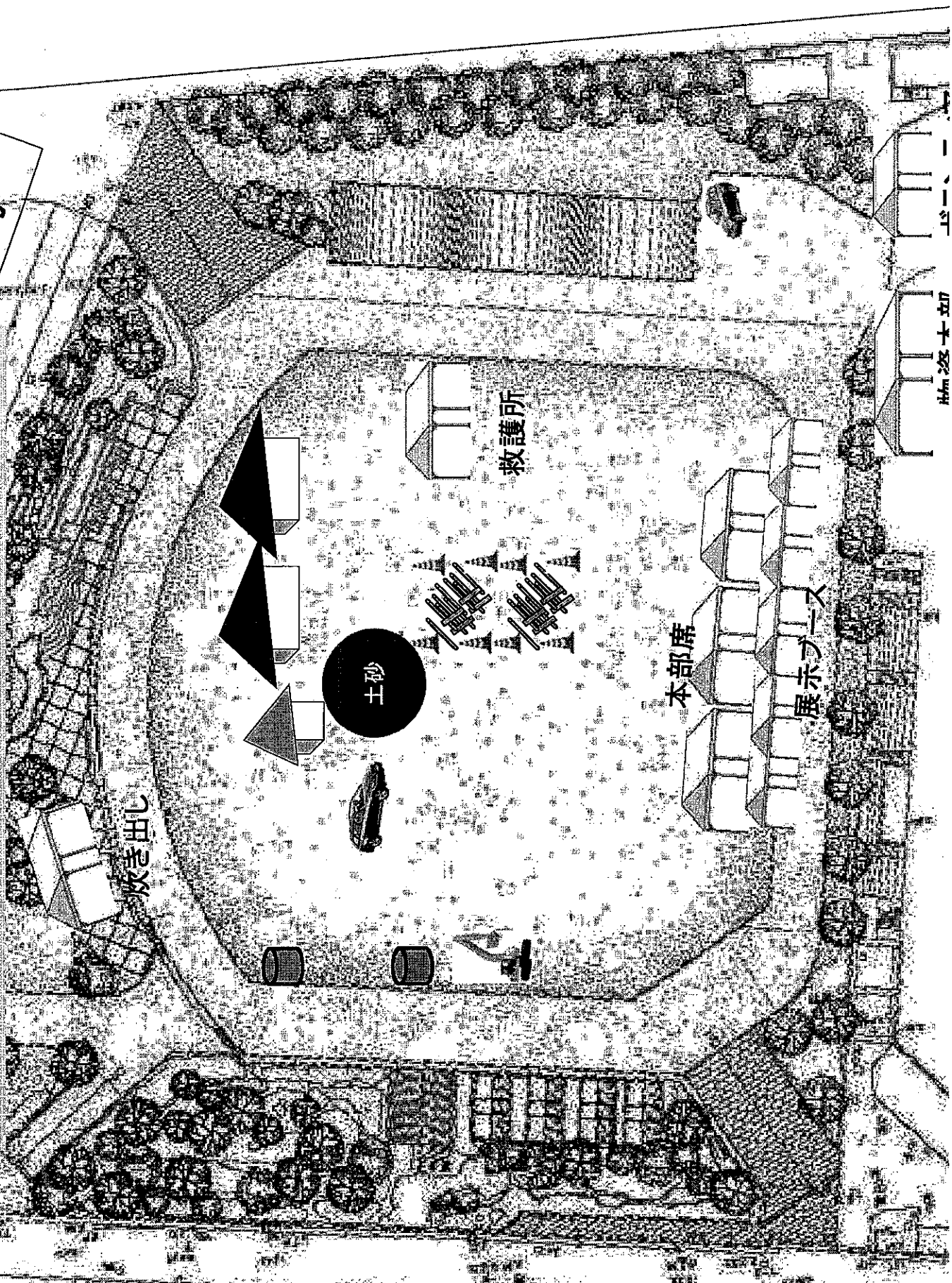
以 上

「平成27年度 西宮市総合防災訓練 地域防災拠点運用訓練」概要

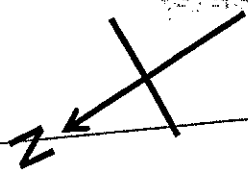
訓練項目		訓練概要等	(15分ビッチ)					
			13:14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30
開 会 式			■					
①	ヘリ情報伝達訓練	上空から確認した被害状況を取得する	■					
②	ボランティアセンター開設・運用訓練	災害ボランティアセンター開設・運用(屋外)	■	■	■	■		
③	緊急用貯水槽訓練	緊急用貯水槽を使用した給水を行う		■	■			
④	給水車訓練	配水車による給水を行う		■	■			
⑤	災害用トイレ設置訓練	災害用トイレ(災害時要援護者用)を設置する		■	■	■		
⑥-1	救援物資受入拠点準備訓練	救援物資受入に際する事前準備を行う			■			
⑥-2	救援物資受入訓練	トラックの搬送物資を効率的に受け入れる			■	■		
⑥-3	救援物資仕分け訓練	受け入れた物資を仕分けする				■		
⑥-4	救援物資搬送訓練	受け入れた物資を避難所へ搬送する				■		
⑦	炊き出し訓練	避難者により炊き出しを行なう			■	■		
⑧	救護所開設・運用訓練	屋外で救護所を開設し、負傷者を受け入れる					■	■
⑨	人命救助訓練(人命救助隊)	挟まれにより動けない負傷者を資器材を使用し救出する					■	
⑩	家屋からの救出訓練	家屋に閉じ込められた負傷者を救出する					■	
⑪	交通事故救出訓練	交通事故により車両に閉じ込められた負傷者を救出する					■	
⑫	倒壊家屋からの救出訓練	倒壊家屋に閉じ込められた負傷者を救出する					■	
⑬	火災防ぎょ訓練	地震により発生した火災を迅速に消火する					■	
⑭	土砂埋没家屋からの救出訓練	土砂による埋没家屋から負傷者を救出する					■	
⑮	水防工法	土のうを作成する					■	
閉 会 式								■

訓練会場イメージ図

143号



143号



訓練会場・駐車場位置図

津門中央公園（地域防災拠点） 津門住江町3番



【アクセス】

◇徒歩でお越しの方

- ・西宮市役所より徒歩約 15 分
- ・阪神今津駅・阪急今津駅より徒歩約 5 分

◇車でお越しの場合

※駐車場へは酒蔵通りから津門川沿いを進み公園内に停車ください。

※駐車台数には限りがありますので、できるだけ公共交通機関等をご利用願います。